

第3回シンポジウム 『食と自然免疫』

日時 平成26年3月18日(火) 13:00~17:15 (12:00受付開始)

場所 笹川記念会館 第1,2合同会議室 鳳凰の間
(東京都港区三田3-12-12)

入場料 一般:1,000円 学生:500円 (※交流会:5,000円)

定員150名:申込先着順
(3月7日申込締切)

プログラム

13:00~13:15 **開会挨拶**

自然免疫制御技術研究組合 代表理事 杉 源一郎
経済産業省製造産業局生物化学産業課 (予定)
一般財団法人バイオインダストリー協会 (予定)

13:15~15:00 **講演 (前半の部)**

座長 杉 源一郎 (自然免疫制御技術研究組合 代表理事)

(13:15~14:15) 「食による予防医学~今後の方向性~」

矢澤 一良 氏 (東京海洋大学 特任教授)

(14:15~15:00) 「LPSの生理的作用:免疫のビタミン?」

河内 千恵 氏 (香川大学医学部 客員准教授)

15:00~15:20 **休憩**

15:20~17:10 **講演 (後半の部) / パネルディスカッション**

座長 杉 源一郎 (自然免疫制御技術研究組合 代表理事)

(15:20~16:20) 「食品の臨床応用にむけて~医学と医療の間に残された課題~」

大野 智 氏 (帝京大学医学部臨床研究医学講座 特任講師)

早稲田大学先端科学・健康医療融合研究機構 客員准教授)

(16:20~17:10) パネルディスカッション

17:10~17:15 **閉会挨拶**

自然免疫制御技術研究組合 副代表理事 上田 和男

17:20~19:20 **交流会**

主催 自然免疫制御技術研究組合

後援(予定) 経済産業省、一般財団法人バイオインダストリー協会、国立大学法人香川大学、
公益財団法人かがわ産業支援財団、独立行政法人科学技術振興機構、
公益社団法人農林水産・食品産業技術振興協会、
四国経済連合会、一般財団法人四国産業・技術振興センター

◆問い合わせ先

〒761-0301 香川県高松市林町2217-44 ネクスト香川301 自然免疫応用技研(株)内
自然免疫制御技術研究組合(中本) TEL:(087)867-7712 FAX:(087)867-7737

第3回シンポジウム『食と自然免疫』開催にあたり

「自然免疫制御技術研究組合」は、糖脂質(リポ多糖、LPS)等を用いて自然免疫を制御する有用な技術を開発する目的で、平成22年3月8日、経済産業省の認可を受け、全国で12番目、四国では初めての技術研究組合として設立されました。現在、自然免疫活性を制御するさまざまな新規な素材の研究開発に取り組むとともに、自然免疫制御による健康維持戦略の確立に向けリテラシー向上にも力を注いでおります。

今回、ご案内申し上げます「第3回シンポジウム『食と自然免疫』」は、こうした活動の一環として、現在極めて注目されている食品の機能性を取り上げ、健康寿命の延伸と直結する“健康を維持する「自然免疫」”の視点で多くの皆様にご紹介することを目的として開催させていただくものです。

超高齢社会を迎えて「病気になってからの治療」から「病気の予防」への転換により健康で長寿の達成が求められています。事実、未病や予防などに向けた新たな視点での健康維持に関する研究が広がりを見せています。そこで、今回は、講師に東京海洋大学矢澤一良特任教授、早稲田大学大野智特任講師、香川大学河内千恵客員准教授をお迎えして、一般から専門にわたる御講演を頂き、その後のパネルディスカッションでは会場の皆様にもご参加頂き、活発なご討議を頂くことを企画しています。

日本が長寿国家であることは誇るべきことでありますが、その一方で、高齢化に伴い医療費が増加している事実にも表れているように、必ずしも健康とは言えない状態にある高齢者も少なくありません。どうすれば高齢になっても活動的な生活を営むことができるのが、今後の大きな課題の一つであることは疑いありません。その具体的な取組として、人間を含む生物に元来備わっている「自然免疫力」の低下を抑え、さらに、その力を100%活用することにより、疾患リスクの低減を図り、病気からの回復速度を早めることなどが考えられております。

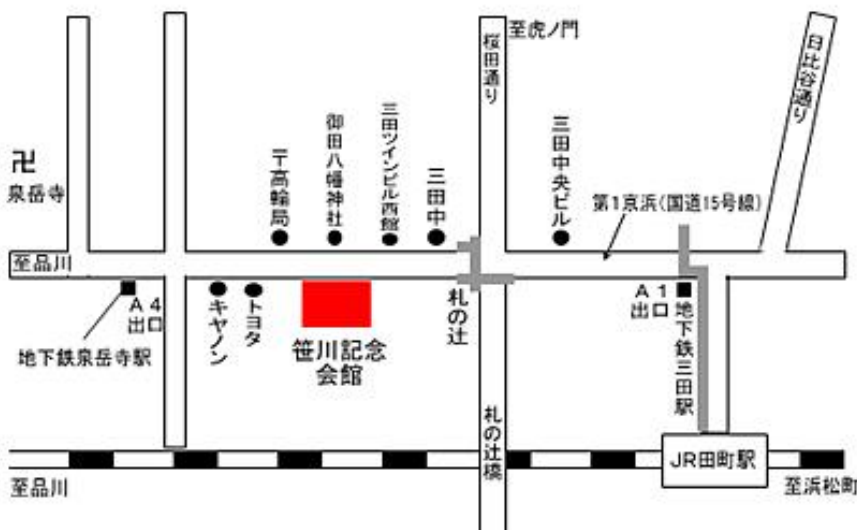
こうした中、近年、「食」については、一次機能(栄養)、二次機能(感覚)に加え、三次機能(生体調節)に注目が集まっています。生物は、脳、神経、免疫だけでなく、共生細菌などの外部環境も含めて多くの要素が相互に関係して個体としての生命が統合的に制御され、身体の健康が維持されており、それら相互関係の基盤となっている「自然免疫」は食の三次機能を解析するうえで重要な役割を担っておりますが、この三次機能に関しては、これまでは、医薬的に食品から単一機能を担う低分子物質を取り出して解析することが主流とされていたこともあり、「食と自然免疫」の関連性はあまり着目されてきませんでした。

本シンポジウムは、こうした課題などを踏まえて開催させていただくもので、ご講演が自然免疫を制御する食の機能性を明らかにして「健康で長寿」を実現する上で、皆様に新たな手がかりを提供するものになると期待しております。そして、このことは、健康寿命の延伸を図るに留まらず、医療への過度な依存を減らし医療費の削減にも資する取組でもあると期待されます。

本シンポジウムが免疫関連の研究者、予防医療や健康産業に携わっておられる各界の皆様、そして免疫に興味をお持ちの皆様に、自然免疫に関する研究と開発の現状やこれからの展望を理解していただく機会になれば誠に幸いと存じます。

たくさんの方々にご出席を賜りますよう、ここにご案内申し上げます。

笹川記念会館アクセスマップ



最寄りの交通機関

- ・JR三田駅
三田口より徒歩8分
- ・都営地下鉄三田線
三田駅より徒歩6分
- ・都営地下鉄浅草線
泉岳寺駅より徒歩3分

笹川記念会館
〒108-0073
東京都港区三田3-12-12
TEL : 03-3454-5062

講演者紹介



矢澤 一良 氏

東京海洋大学 特任教授

京都大学工学部卒業。農学博士。(株)ヤクルト本社、(財)相模中央化学研究所を経て、2002年東京水産大学大学院(現東京海洋大学大学院)客員教授に着任、2012年より現職。東京水産大学大学院に移った2002年度から2011年度の間、ヘルスフード科学(中島董一郎記念)寄附講座の客員教授として、予防医学のための機能性食品、すなわちヘルスフードの新規探索、機能解明、用途開発に関する教育・研究に携わる。

現在、平成24年度より、東京海洋大学特定事業として新規設立された「食の安全と機能(ヘルスフード科学)に関する研究」プロジェクトにおいて、食の安全性と機能性に関する研究、ヘルスフードの提案・関与成分解析・作用機序解明に関する研究と教育啓発活動を実施している。



河内 千恵 氏

香川大学医学部統合免疫システム学講座 客員准教授

立命館大学理工学部化学科卒業後、広島大学大学院工学研究科・博士課程終了(工学博士)。ファイザー製薬(株)、日本学術振興会・がん特別研究員、帝京大学生物工学研究センター助手、広島大学アイソトープ総合センター助手を経て、2007年より現職。自然免疫応用技研株式会社代表取締役、NPO環瀬戸内自然免疫ネットワーク理事兼務。

発酵分野の酵母の遺伝育種の研究からスタートし、カンプトテシンの抗癌作用機序研究に携わったほか、1989年からは、杉源一郎博士(現、自然免疫制御技術研究組合代表理事)とともに、マクロファージの機能解明の一環として膜結合型TNFの機能に関する研究、およびグラム陰性細菌LPSの生理的作用解明と実用化研究に取り組み、現在に至っている。



大野 智 氏

帝京大学医学部臨床研究医学講座 特任講師
早稲田大学先端科学・健康医療融合研究機構 客員准教授

1998年島根医科大学卒業後、同大学第二外科(消化器外科)入局。2002年島根医科大学大学院にて医学博士取得。その後、金沢大学、大阪大学、東京女子医科大学等を経て現職。

2005年より厚生労働省がん研究助成金研究班にて補完代替医療の研究に従事。がん患者への情報提供資料「がんの補完代替医療ガイドブック」の作成や機能性食品の科学的検証(ヒト臨床試験)に取り組む。2012年より日本緩和医療学会ガイドライン作成委員として補完代替医療分野を担当。2013年からは厚生労働省「『統合医療』に係る情報発信等推進事業」における『「統合医療」情報発信サイト』の制作にも取り組む。現在、朝日新聞医療サイト「アピタル」にて医療・健康情報の見極め方をテーマにコラムを執筆中(<http://apital.asahi.com/article/kiku/index.html>)。

座長紹介



杉 源一郎

自然免疫制御技術研究組合 代表理事

東京大学薬学部卒業。1983年東京大学薬学博士、帝京大学生物工学研究センター助教授、教授、1989年同センター副所長。2000年徳島文理大学健康科学研究所教授、同大学院教授を経て、2011年より現職。同大の健康科学研究所免疫アレルギー部門長、産学連携推進機関長としても活躍する傍ら、香川大学医学部客員教授、東京理科大学総合研究機構(戦略的物理製剤学研究基盤センター)客員教授。

申込期限:3月7日(金)

第3回シンポジウム『食と自然免疫』参加申込書

参加ご希望の方は、以下の太線枠内に必要事項をすべてご記入の上、FAXまたは電子メールにてお申し込みください(個人で参加される方は、連絡先とお名前のみご記入ください)。

★先着順にてお申込の受付を致します。席に限りがございますので、定員に達した場合はお断りさせて頂く場合もございます。予めご了承下さい。

企業・団体・大学名		
連絡先	TEL:	FAX:
	電子メールアドレス:	
	ホームページURL:	

お名前	所属・役職	交流会【17:20~19:20】 (どちらかに○を付けて下さい。)
		参加 ・ 不参加
		参加 ・ 不参加
		参加 ・ 不参加
		参加 ・ 不参加
		参加 ・ 不参加

◆事務局よりのご案内



本シンポジウム終了後、同会場5Fレストラン菊にて「交流会」(会費:5,000円※)を開催します。奮ってご参加下さい。
(※当日、受付でお支払下さい)

◆お申し込み先◆

FAX:(087)867-7737 / 電子メール:ciitra@shizenmeneki.org

本シンポジウムを知ったきっかけ (☑を入れてください)	<input type="checkbox"/> 本組合ホームページ	<input type="checkbox"/> シンポジウムちらし
	<input type="checkbox"/> 知人・取引先の紹介	<input type="checkbox"/> 新聞記事(新聞名:)
	<input type="checkbox"/> その他()	

※ご提出いただいた個人情報、本シンポジウムの目的以外には使用いたしません。

◆問い合わせ先

〒761-0301 香川県高松市林町2217-44 ネクスト香川301 自然免疫応用技研(株)内
自然免疫制御技術研究組合(中本・中田) TEL:(087)867-7712 FAX:(087)867-7737